

報道関係 各位

株式会社アドバンテスト

「平成20年電気学会 電気学術振興賞(進歩賞)」を受賞

株式会社アドバンテスト(本社:東京都千代田区 社長:丸山利雄)は、このたび、「高速テスト向けMEMS(Micro Electro Mechanical Systems)スイッチの開発」により、平成20年電気学会 第64回電気学術振興賞(進歩賞)を受賞いたしました。

受賞テーマ「高速テスト向けMEMSスイッチの開発」について

当社は、MEMS技術で世界をリードする東北大学の江刺研究室と連携し、半導体プロセスを用いて微細な三次元構造を作ることのできるMEMS技術と当社がこれまで培ってきた高周波技術を用いることで、10GHz以上の広帯域な信号を低損失に切り替えることのできる微小なスイッチを開発しました。このMEMSスイッチを半導体テスト・システムに組み込むことで、従来の機械スイッチや半導体スイッチを使ったシステムでは到達できなかった高速信号試験を可能にしました。

なお、このMEMSスイッチはT2000テスト・システム用の6.5Gbpsデジタル・モジュール(2005年12月発表)に搭載され、高速シリアルバスを持ったデバイスのテスト効率の向上を実現しております。今回の受賞はこれらの成果が認められたものです。

電気学会について

社団法人電気学会は、1888年に創設された学者・技術者会員組織の学術法人で、電気学術全般の研究や調査活動、その成果の発表を行っており、会員は大学や企業の研究者、技術者、学生など2万4000人を数えます。

電気学術振興賞(進歩賞)について

電気学術振興賞(進歩賞)は1942年から続く伝統ある賞で、電気に関する学術・技術において新規な概念、理論、材料、デバイス、システム、方式等を新たに提案あるいはこれ等の提案を実証した者および電気に関する製品や設備等を新たに完成または改良し、顕著な成果をあげた者に授与される賞です。

本ニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報であり、時間の経過または様々な事象により予告無く変更される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。